

議長（中西 康雄君）

定刻となりましたので、休憩前に引き続き一般質問を再開をいたします。

15 番 森 本 泰 典 議員

議長（中西 康雄君）

8 番 森本泰典議員の発言を許可します。

森本議員。

15 番（森本 泰典君）

私は議席番号 15 番森本でございます。

質問内容が 2 項目ありますけれども、まず大台町の人口減少対策とし、町の活性化についてということで、現在、町の人口減少、町の衰退かに歯止めがかからない状態だと思います。対策の 1 つに企業の誘致するとか、また住宅地をつくるとか、何か町が対応は必要じゃないかと、私は個人では思っておりますので、町として何か対策を考えているか、ちょっとお聞きいたします。

議長（中西 康雄君）

尾上町長。

町長（尾上 武義君）

それでは森本議員の人口減少対策と、町の活性化についてお答えをいたします。

大台町の人口は国勢調査で昭和 35 年には 1 万 7,399 人を数えておりましたんですが、以降減り続けまして、平成 17 年には 1 万 1,099 人と、昭和 35 年より 36.2 パーセントの減少となっております、急速に過疎化が進んでいるところであります。この要因は多くの企業が立地し雇用機会が多い都市への人口流失と、基幹産業であります第 1 次産業衰退が最大の要因であると考えられます。

ご指摘の企業誘致につきましては、現在、松阪地域産業活性化協議会を組織し、松阪地域全体で企業誘致に取り組んでいるところです。町といたしましては新名神の開通や、紀勢自動車道の延伸によりまして、関西方面からのアクセスが飛躍的に向上し、比較的安価な地価と豊かな地域資源、それに労働者も確保できることをアピールし、松阪に支店を持ち大阪に本店のある関西地域の企業を対象に誘致を呼びかけましたが、具体的な成果は得られておりませんが、引き続きあらゆる機会をとらえて企業誘致につとめてまいりたいと思っております。

また一方で昨今の米国初の経済危機により、多くの企業が倒産あるいは製造調整に入り雇用情勢が悪化するなどの影響を企業が真先に受けていることを考えますと、企業の業績に左右されないまちづくりや行政運営も必要かと感じているところであります。

そういったことから地域の皆さんが、自然や歴史、文化などの資源を知恵と工夫で磨くことによりまして、新たな経済活動の創出につなげながら、町民、行政、企業が協働できるような産業の創出をめざすことで、足元のしっかりしたまちづくりができるのではないかと考えております。

町民自らが地域の資源を、いま一度見つめなおし、町民が主役となり行政と企業が応援できる地域づくりこそが、元気の出る地域であり町ではないかと考えております。元気のある地域は、魅力的でもあり、人が集まってくるものと考え、平成 21 年度から町民が主役となり、地域の資源をいかした取り組みに力を注ぎたいと考えているところです。

また住宅地につきましては、民間企業が参入している地域や参入できる地域におきましては、行政が手を出す状況にないと考えておりますが、民間が参入しない住宅供給の少ない地域におきましては、住宅地を希望する移住者等に対し、今後なんらかの施策も必要かと考えております。

人口の減少と町の衰退化につきましては、いま多くの自治体が苦しんでいる大きな問題でございますが、大台町といたしましては町の将来像、自然と人々が幸せに暮らす町を実現するため、5 つの基本目標を掲げながら、町民と行政が協働して事業や施策を展開しているところでございますので、ご理解をお願いし答弁とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

議長（中西 康雄君）

森本議員。

15 番（森本 泰典君）

いま町長言われましたように、どこの町でも少子高齢化で人口がどんどん減っているのが現状だと思います。人口減少は勿論、町税収も減り、町民の税収が減るということは、町民にも不満の声も出るということで、町行政も苦しくなるばかりやと思います。対策の一つとして町長に提案というか対応というか、いま町長も言われましたけども、工業地をつくるとか、住宅地をつくるとかというのは、私の提案ですんやけども、いま現在、町のほうで安価で住宅地ができるとか、工業地ができるというような場所というのは、私ちょこちょこ地図とか、走ってみてわかりますんやけど、大台町の中でも栃原が一番いいんじゃないかと思います。栃原の駅裏といいますが、あの山は丘陵地ですんやけども、高い山でも 30 メートルぐらいしかないし、そやで高い山を削れば、埋めればちょっとした簡単な丘陵地と安価で住宅地とももちろん工業地ができるんじゃないか。

あの場所というのは、栃原、新田地区を混ぜた広さぐらいあります。ただその土地の持ち主さんが皆さんなかなか放してもらえるかどうかわかりませんのやけれども、いま現在、町へむいて例えばですけど、大きな会社がちょっと工場つくりたいんやけどと言うた時に、最適な場所じゃないかと思います。

それには普段から住民さんというか、土地の持ち主に声をかけて、そこを開拓できるぐらいの状態に町としてはもっていただければ、いいかなと思います。それで栃原というのは、松阪にも近いし、勿論伊勢にも近い、そこへむいて小学校、保育所、勿論 JR の駅、国道のバス停、それで高速道路にも近い、なにかにつけて便利のよいところだと。

ただ土地的にも大台町の中でもそんなにお金のかかる場所じゃないし、民間が住宅地を町長が言われたように、なんかやってみえるという話も聞きますけども、民間がやったってこの近くでは、そんなに立派な、立派というんか、大きな区画のものはできやんと思いますんで、町が率先して、お金もかかりますけども、将来的に人口が増える、地区の対策、勿論学校も減らさずにすむ、人口が増える、それが一番ええと思いますんやけども、私はそういうふうを考えておりますんやけど、とにかく町が活性化、元気のある町、そんなふうにして欲しいんですわ。いま町民さん、誰の話を聞いてもなにか

ええことないかいな、何かええことないかいな、なんか変わったことねえんかというような話がよう
出ますんや。

私も三瀬谷地域でもいいけども、大杉へ行ったって、やっぱり山を削るちゅうとたいそうお金もか
かることなんやし、できれば栃原、一番近て一番活性化しやすい地域ではないかと思ひます。これも
民間でやれという、なかなか相当な手間がかかったり、金額もかかるということで、町がちょっと
柱だてにちょっとやっていってもらえれば、大台町えらい伸びるんやないかという、将来の話ですけ
れども、そういうふうになるんやないかと思ひますんで、町長のお考えをちょっとそこでどう考えて
みえるんか、ちょっとお聞きいたします。

議長（中西 康雄君）

尾上町長。

町長（尾上 武義君）

ありがとうございます。

そういった工場立地ができて、働く人も増え、そしてまたそこに定住する人も増えるというのか、
一番いい形ではないかなと思っております。

そういうことで、いろんな社会基盤も整備されて、次第にその地域が活性化されていくという、そ
ういうパターンが出てくるのではないかなと思っておりますが、栃原の駅裏のその丘陵地にそうい
う適地があると、こういうようなことでございまして、そこら辺は頭に入れてさせていただきたいと
思ひます。

ただこれまで大台町では農村地域工業導入法の関係で、工場立地できる用地と言ひますが、そうい
ったようなものを県のほうへ届けております。それは弥起井のあの町有地でございましてけれども、そ
ういふような形で届けているところなんです。そこら辺の農村工業導入法の関係とか、色々もっと勉強し
ながらやっていかないかなのかなというふうに思ひますが、大きくはそのような企業誘致、いま工
場立地等についての問い合わせ等は、全然ないわけですし、なかなかいまの経済状況を考えると、暫
くありにくいのかなというふうに思ひますけれども、ただ私はやはりこの地域に根ざしたよう

な産業の振興ということが、非常に大事やいかなというふうに思っておるんです。

そういうことで、そんなに派手ではないかもわからないのですが、例えば40人、50人とかということではなく、それはあればいいですよ、あればいいですけど、2人、3人とか、数人のような形でいくつもそういう事業を展開する人ができてくるという、そういうようなことが一番足腰も強く、派手ではないものの、粘り腰のあるような、そういう地域と言いますか、工場群ができてきたら、結構いいかなというふうに思います。

そういうことで立地的には確かにインターにも近いし、松阪、伊勢にも近いというようなことで、かなり通勤圏域という広がりには当然出てこようかと思えますし、奥のほうから出てきても、栃原までやったらそんなに時間もかからないというふうなことで、いいところではないかなというふうに思います。

用地云々というふうなことににつきましては、別としましても、そういうような適地があるというふうなことで、一度また見せていただいて、どの程度のものになるのか、いろんな基盤等の整備もしてかならんわけですけども、そこら辺も一度見せていただきたいなというふうに思います。

ご案内の嬉野インターですね、あれは政策的なインターチェンジで、当時の嬉野町が道路公団のほうに費用を出して、インターをつくと、それはとりもなおさず工業団地をつくったということですよ。ただその工業団地の立地が、インターもできて、そこに工業団地ができたというふうなことですけれども、立地が思うように進んでいないという、そういう実態もあるわけですので、さあ用地を用意したよと、全部売ってくださいよと言っても、なかなかそれにあうような形でできるかどうかとなりますと、非常にそれは先行きをしっかり見ていかないと、ただ持ち腐れみたいになってしまっても、これいかんというふうなこともありますので、非常に難しいことではございますが、一度その地域を見せていただきたいなと、こう思っているところです。

その後、どのような形でなるのかというのは、まだ不明でございますけれども、県とも相談しながら、一応のその農業工業導入法の関係とか、そういうものでもっていけるもんなら、持って行って一応の絵の上にはなりますけれども、造成とかというのは別として、絵の上にはなりますけれども、適地がありますよというふうな形で、できるならそういうふうなことも考えていきたいなというふうに思っております。以上です。

森本議員。

15 番（森本 泰典君）

いま私が大きな会社と言ったもので、町長そのつもりでおいでるかもわからんけども、いや5人、10人の会社でよろしいんやけども、10、20 というよりはえろう変わらんだけ、まだ大きな会社よりも、税金ようけとれるかもわかりません。ただ私の考えは、その住宅地とかねて小さい工場でよろしいで、そういう場所には最適の場所ということで、私は思っております。

いま現在でも町長ちゅうか、町のほうはあそこ場所は、ええ場所てあまり思っていないみたいな話ですけど、私は栃原出身ですので、栃原の地域活性の先頭になってやれたらという考えがありますので、なかなかうまいこといかんかわからんけども、それをちょっと町が活性化して、県にもちょっと声をかけて、町長安くお金を借りる方法をよく知ってみえるんで、それを利用してやっていただければ、将来の大台町も安泰し、町長も安泰ということで、できたらもう町長さまさまの考えになると思えますんで、できるだけ町として本当に将来のため、いま現在は苦しいですけども、将来のために町長として頑張っていたきたい、町行政としても頑張っていたきたいと思えます。

それで、町長いま一度、工場誘致だけやなしに、住宅地だけでもずいぶん違うと思えます。いま私もちょっと建築の仕事をしておりますけども、家1軒建てさせてもらうということは、家1軒建てるちゅうたら、最低でも20業者の業者が絡んできます。それを全部大台町の手でやれば、勿論税収も増えるし、地域の活性化というのに一番だと思えます。

できたらそういうふうにとにかく財政がないと言わずに、将来のことを考えてやれば、ずいぶん町にプラスになることだと思えます。いま現在、大台町の中で本当に明るいニュースというのか、希望的なニュースというものはなかなかないです。住民さんもですけども、我々、皆さんもそういう考えだと思えます。なかなか民間でやれというと、莫大なお金がかかるんで、町がうまく県や国からなんとか安くお金を借りて、それをやっておけば、将来やっておいて良かったなというような感じになると、これ私個人でずいぶん昔から頭の中におりますんで、できたら町もなんとかそういう手だてを考えて、ちょっと一遍試行錯誤で考えていただきたいと思えます。町長もう一遍なんとかよろしく。

議長（中西 康雄君）

尾上町長。

町長（尾上 武義君）

お金がないのでは何も言っておりませんので、必要性があればそういったようなことも、考えていけないかなと思っております。ただ今の経済状況の中で、企業がどれだけ進出するのかというのは、答弁のにもありますし、ただ数人、4、5人程度のものでも、どれだけ需用ができるんかとかいうふうなこともあります。

住宅地とあいまって、その需用、そういったような需用動向なんかも考えていけないかん、闇雲にそういうのをつくっていかんというふうなこともございますんで、そこら辺は慎重に対応してかないかんと思いますが、まずは一度その周辺の状況を見せていただかないかんと思っておりますんで、またしかるべき時期に、現地の状況をつぶさに見せていただきたいなと、こう思いますので、よろしくお願いをしたいというふうに思っております。ありがとうございます。

議長（中西 康雄君）

森本議員。

15番（森本 泰典君）

それでは次の項目に入らせていただきます。

熊野古道や町内の祭りについてということで、町内の各地区の祭りや熊野古道の保護と観光に、地元団体の宮川ルネッサンスが町内の祭りなどを紹介して、観光に力を入れて、大台町に観光客を誘致する努力がみえますが、町としての対応をお聞かせください。

議長（中西 康雄君）

尾上町長。

町長（尾上 武義君）

それでは熊野古道や町内の祭りについて、お答えをいたします。宮川流域ルネッサンス協議会は、宮川とともに生きるために住民、企業、行政が協働しながら、地域の豊かな自然、歴史、文化を保全し、地域の活性化を図ることを目的に、平成12年6月に成立をされました。

大台町を始め宮川流域の7市町が県と共同しまして、流域に点在する豊かな自然、歴史、文化、産業といった身近なフィールドを活用し、宮川流域の案内人の皆様が、イベントなどを通じて、流域の魅力を外に伝えていただいております。町はこの協議会の負担金として30万円を計上し、流域の活性化を支援させていただいております。

大台町には、現在流域案内人として、23名の方が登録をされておまして、定期的に流域案内人や、大台町のふるさと案内人の会の皆様が、熊野古道等を活用し、都市との交流イベントを実施していただいております。またこの皆様と地区住民が協働して、栃原地区と上瀬間にある熊野古道伊勢路の一つ、馬鹿曲りの復興を検討いただいております。既に付近の古道の整備や周辺の清掃を実施されたと伺っております。

ここは私も現場を見せていただきましたんですが、古い橋脚もしっかり残っておりますし、町としても是非復興したい箇所であるなと思っております。最近古道を活用した交流イベントの開催や、他県の旅行業者が古道めぐりツアーなど、数多く開催されるようになってきております。熊野古道や周辺の整備についてでございますが、平成18年度は道の駅奥伊勢大台と、JR三瀬谷駅から北畠史跡等への誘導看板を道沿いに設置をし、また平成19年度は日進地区の熊野古道と、その周辺に案内看板の設置や、登山コースの整備を行ってまいりました。

更に今年度は三瀬の渡し付近の熊野古道や、周辺の環境整備に地元の皆様が主体となって実施をしていただいております。この熊野古道は町にとりまして、非常に重要な歴史資産であり、また観光資源でもありますので、整備にむけて町民の皆様と協働して取り組んでまいりたいと考えております。

観光振興による地域の活性化は重要な施策の一つでございます。町では今後も地域の皆様やグルー

プが実施する都市交流イベント、あるいは祭りなどに観光協会を通じて、積極的に支援をしてまいりたいと考えておりますので、ご理解賜りますようお願いしまして、答弁とさせていただきます。よろしく申し上げます。

議長（中西 康雄君）

森本議員。

15 番（森本 泰典君）

私も熊野古道の日進から粟生、高奈までですけれども、1 回歩いたことがあります。日進地区の今の今の町長の言われた馬鹿曲りから入って、ずっと上瀬、上瀬を過ぎて上楠というんか、下楠。ずっと粟生の高奈まで行ったことがあります。その間を歩いた時に、私は思ったですけども熊野古道は線路で寸断されて、線路をわたらんと行けやんとか、それから逆に言えば道が崩落しておって、歩きってそこでちょっとユーターンせないかんとか、今はちょっと現在直っているかどうかわかりませんのやけども、それとか水路、人間が渡れるような水路ですんやけども、川の中に石が置いてあって、その石をまたいで渡ったり、そんな覚えがあります。

せっかく熊野古道といって、一応名前を世界遺産の名前をもらったんですから、ちょっと歩いておっても危なくないような感じで、こう歩けたらとも私は思いますんやけども、大台地区のふるさと案内人さんの方々に、私も一緒に連れて 10 人ぐらいで歩いたと思いますんやけども、これさえなかったら危なくていいやけどなというのが、やっぱり随所崩れておって通れやんで、ちょっとこっちへ回ってとか、そういうのかようけありましたんさ。

ただ熊野古道の復元せえというわけでもないやけども、例えばこう歩いておっ、ちょっとだけ遠回りになるけれども、こっちへ回ってというほど遠回りやなしに、本当に横に人間が歩くだけでよろしいんやで、安全な迂回路というんか、それさえつくってあげれば、もう端から端まで歩けるような状態になると思います。それでその中で私がちょっと聞かせてもらったことなんやけど、まだ今の質問に戻るような内容になってしまうかわかんけども、観光客をせっかく連れてきてもらたんやけど、大台町でせっかく熊野古道を歩いたんやけど、それになんか記念するようなもんが何もないな。道の

駅に行けばシイタケとか、お茶とかはあるんやけども、鮎もそうですけども、なんか記念になるものが何もないんやという話が出まして、それやったら何がええなと言うたら、どこへ行ったら何々記念って、置物でもいいし、食べ物でもいいし、飛び抜けたもんが何もないという話が出まして、私、大台町の熊野古道歩いてきたんやけど、持って帰るもんが証拠がないんやわというような感じで、そやで私もそこでちょっと考えましたんやけども、大台町の中には宮川の大台ヶ原からダム湖とか、ホテルの里とか、名所が色々あると思いますんやけども、大台にも北畠、それからかんこ踊りとか、ごみかけ祭り、それから柳原観音、旧址名跡がありますんやけども、各地でいろんな祭りがやられてみえるんやで、それに関連したみやげ物、食べ物でもよろしいですけど、ここは完全なる大台の品物やというのがわかるようなもんを、町のほうで何か商工会とか、観光協会とか、話をしてもらって、特別なものをつくっていくというふうな考えはあるかないか、折角ですので世界遺産、大台町、熊野古道、こんなことはないと思いますんで、それを利用した品物をみやげとして、堂々と持って帰れるようなみやげもちょっと考えていただきたいと思います。

議長（中西 康雄君）

尾上町長。

町長（尾上 武義君）

今の古道は国道あるいはJR等で寸断をされておると、横断をしなくてはならないといった箇所も、幾つかあります。そういうことでどうしてもしなくちゃならないところもあるんですけど、それ以外のところではなるべくその安全も期しながら、整備をしていきたいなというふうに思っております。

いいところもあるんですね、素晴らしいところあるんですわ、本当に私も歩きにいつてびっくりしたんですけど、そういうところがありますし、地域の案内人の皆さんも出ていただいて、幾分整備もしていただいております。それで安全柵もつくっていただいたというようなことで、なっておりますけど、やっぱり行政もそこに入って行って、やっていく必要があるのかなと思うんです。

ということで協働しながら、いろんな古道の整備はやっていきたいなというふうに思っております。いろんな経済対策等も出てきておりますので、その中で一度考えよということで、思っております。

で、これは補正等をお願いをするというようなことになろうかと思いますが、そういうふうな整備を順次進めていきたいというふうに思っております。

そこで来たその記念になるものがないというようなことなんですが、まだ今のところそんなに整備ができていない途上、途中なんで、そういうことでもんで、皆さん本格的なみやげ物の開発とかいうことには至っていないんだと思うんですが、これが順次整備をされてくると、次第に今も徐々に増えてはきておりますけれども、民間のツアーなんかも予定をされておるといようなことで、大阪あたりからも、数百人がくるというふうなことも言われておるんですが、そんなようなこともありますんで、当然休憩できるところとか、食べるところとか、あるいはそういったみやげ物の販売とか、いろんなサービスを提供できるようなことを考えていかないかと思えますね。

当然商工会さん等、あるいは観光協会にも話をさせていただく中で、それに取り組んでいただけるような人、そういうことはやっぱり必要になってくると思うんです。これ行政がそこまでやるというふうななりますと、ちょっとそれはあんまり行政でやりきったるといきませんのでね、皆さんに出ていただく舞台をつくらないかということをおもっておるんですが、その中で申し上げられた柳原観音とかごみかけ祭りとか、いろんな観光とか歴史、文化が色々ありますんで、それにひっかけたようなものも、当然開発の中のグッズとして、非常に大事なものではないかと思えますし、色々な記念品でなり食べ物なり、いろんなものが考えられるんであろうと思えます。

ただそれを誰がやるかということですね。やって損した止めたというふうなことではあきませんので、そののやはり自分でリスクを負いながら、やっていただかんと、町から補助金だけいただいて、やった、あかんだ、やめたと、こうなったら簡単にやめられるんですよ。自分はリスクを負っていないというふうなことになりますので、そこら辺が大事なとこかなというふうにも思っているところで

す。
そういうことでまず作っていきたいという気持ちは持っておりますんでね、どのような方法でやるかというふうなやり方、そういう方法になってくるんかなとも思えます。決して後ろは向いておりませんので、今後も皆さんとまた協働して進めていきたいというふうに思っておりますので、ご指導いただきますようお願いをいたします。

議長（中西 康雄君）

森本議員。

15番（森本 泰典君）

えらい町長にご指導いただくようにと言われたんで、えらいびっくりしてますけども、私も商売、経営の仕事ですんで、人をうまく言うてというのはあれかもわかりませんが、町が商売屋さんにああせえこうせえとは言えんかもわからんけども、相談はできると思います。相談して例えば極端な話、赤福さんみたいになれば、町にもずいぶん潤いもくるし、また寄付もしてくれる、グラウンド1つぐらいすつつくってもらえるぐらい、なるぐらいの寄付が来るぐらいになると思うんです。

そういうまでもいかんでも、とにかく大台町へ行けば、これが本当の大台町のみやげという、できれば折角ふるさと案内人さんが一生懸命になって、大阪や名古屋のほうからも結構な観光の方がみえるので、できれば私も今し言うたように、本当に町の記念に残る、こんな食べ物やったら、今も言うたように赤福とか、置物というのは、これといってあまり人気はないやろけども、そういうのを町もちょっと商工会さん、観光協会さんと話しをして、何がしたらいい、話をしてある程度の指導をやっけてもらえれば、ちょっとその気になる方もいるようです。

先ほど私の質問のその工業地帯、住宅地も内容が一緒になりますけども、できれば町が先導できれば、商工会さんでも観光協会でもついてくると思います。できれば町長、町行政が一体となって、町の活性化、これが一番です。何かいろんな手をつかってでもよろしいで、それが目的でございますので、町長もう一度。

議長（中西 康雄君）

尾上町長。

町長（尾上 武義君）

先日、パーキングエリアも開通したところでございます。それなりに従業員も張りついたようなことではございますが、ある意味その町も旗ふらないかんところは、多々あると思いますね。その為のい

るんな情報提供もやったりとかというようなことも大事になってこようかと思います。

そういうことでこんなもんもあるわ、あんなもんもあるわなということで、情報を提供しているいろんな物をつくっていただけるという部分は、かなり出てくるやないかと思います。いろんな木工製品等にしても、結構つくっていただける方もまだまだおみえのようでございますので、そのようなこととか、いろんなものはやりそめたら、あれもやるこれもやるというようなことで、出てくるが多々あるうかと思います。

十分気をつけていきたいなとも思うんですが、実はこの月末にルネッサンス協議会の会議があるんですけど、これ一人大台町だけでやっておっても、ラインとして結ばないと、伊勢路にはならないというようなこともありますんで、ツツラト峠からこちらですね、大紀町地内、そして三瀬の渡しをとって、馬鹿曲りにいって、千代から相鹿瀬のほうへ向けて、女鬼峠を抜けて玉城を通過して、田丸を越えて伊勢へ入っていくという、そういうルートがやはり大事やないかなと思うんです。

そういうことで、そういった各市町で一体的に世界遺産ということで、熊野古道がぼわんときましたけども、ツツラト峠からこちらは世界遺産にも何にもなっていないということもありますので、別に世界遺産にせえということではないですけども、その市町が共同して熊野古道の伊勢路なんやということを、もっとうち出ししてかな部分があると思うんですね。

そういったようなことがありませんもんで、各市町でちょぼちょぼやっておるようなことでも、発信能力は少ないですね、新聞屋さんも来ておるけども、もっとあげてもらて、やってもろたらよるしいけど、そういうようなことを、やはり広い地域でやっていく、広域的にやっていくことが、これは当然でありますし、大台町だけ通れて後は通れないよというようなことになると、それはつまらん道ですのでね、そこら辺もまた一遍提案しようかなと思っておるんです。

そういう中で、その市町の特色も出したような、申し上げられたみやげ物とか、そういったような開発も当然拍車がかかってくるんじゃないかなと思いますが、町も放っておかずに、先に旗を振るような形で、お金やるよということではないんですが、どうぞやってはいかがですか、こんな情報もありますよというようなことで、どんどんしながら一緒に開発していくという、そういうことが大事だと思うんです。

朴の木団子なんかでもですね、実は山村フェアで2年ぐらい続けて2千個ぐらい出した人がいたんです。こんなん売れへんやると、じっと食べておるもん、と書いていたらですね、2千個が1時間半で売れたんですよ。2年続けて売れた、おかしいな、そんなに売れるんやろかなというように思ったんです。商品化するのに数年かかりましたけど、今ではすごい量になっておる、売り上げになってきておる。じゃぼっちゃり餅をつくりましようねえかな、あるいはこちらでもないしょ餅づくり

ましようねかなと、いろんなこと出てきておる。ないしょ餅なんかでも、パーキングエリア一番の売上筋というふうなことになってきておるんですね。

そういうようなことがありますので、いろんなことをはだてながらやっていくことが必要ではないかな。これはしかしいずれも民間の皆さんがやってきていただいたということなんです。町があれせえ、これせえということではなかった。やっぱり民間の力がどうなんやということが問われておる時でもあると思いますね。そのための情報提供もし、一緒になって開発できるよう取り組んでいきたいと、こう思いますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思います。

議長（中西 康雄君）

森本議員の一般質問が終了いたしました。

議長（中西 康雄君）

暫く休憩します。

再開は1時45分といたします。

（午後 1時 35分）
